

育て科学する心 わくわく科学フェア

5月4・5日の2日間、大洗わくわく科学館でこどもの日わくわく科学フェアが開催されました。こどもの日にちなんだ折り紙でのカブトづくりや打ち上げ式グライダーづくりが行われ、2日間で5,179名の方々が来館しにぎわいました。

また、おもしろ実験コーナーでは偏光板を使った万華鏡や目の錯覚を利用した実験などが行われ、参加した子どもたちは、科学の不思議に目を輝かせていました。



つくり育てる漁業にむけて ハマグリ幼貝の移植放流

4月25日(日)大洗町漁業協同組合員とそのご家族300名が大洗サンビーチでハマグリ幼貝の移植放流を行いました。45,312個が採集され、水産試験場で刻印標識をし、水産試験場の調査船により放流されました。

ハマグリは漁業の安定経営には欠かせないものです。潮干狩りなどを行う場合は3センチ未満のものは捕らないなど、決められたルールを守りましょう。



アクアワールド・大洗 入館者300万人達成

5月11日にアクアワールド・大洗が開館783日目で入場者300万人目のお客様をお迎えしました。

300万人目の入場者となられたのは、栃木県大田原市からお父さん、お母さんと弟のご家族4人で来館した湯崎野 綾香ちゃん(5歳)。イルカアシカオーシャンライブ会場で行われた記念式典では小坂館長から300万人目の認定証が贈られ、橋本知事から水族館のマスコットのピルルとブルルのぬいぐるみやオリジナル商品詰め合わせ、小谷町長から地元海産物がプレゼントされました。



わが家のアイドル



おおさき ひなた
大崎 日向くん
(桜道2区 1歳1ヶ月)
お父さん 優太 お母さん あやか
「日(陽)に向かってすくすく育ってね」



たやま ゆきと
田山 幸利くん
(舟渡2区の3 1歳11ヶ月)
お父さん 幸則 お母さん 光子
「笑顔をたやさずに育ってね」

大洗の四季 フォトコンテスト 佳作



「瞬光」 金沢 清治



「風物詩」 内藤 彰博



なんでも博士

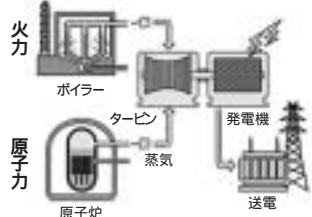
のサイエンスコラム

— 原子力発電 —

前回までに、水の力を利用した「水力発電」、石油・天然ガスなどを使った「火力発電」とお話してきたが、今回は「原子力発電」についてお話ししよう。

まずは前回の火力発電の仕組みを思い出してくれたまえ。火力発電は石炭・石油・天然ガスといった化石燃料を燃やした時に発生する熱エネルギーで水を沸かして蒸気をつくり、タービン、発電機を回して電気をつくるんじやったな。原子力発電も火力発電も水を沸かして蒸気のでタービンを回して電気をつくる点は同じなんじゃ。それじゃ火力発電との違いは何かというと、水を沸かして蒸気をつくる燃料が違うんじやな。原子力発電では、石油・天然ガスの代わりの燃料としてウランという物質が使われているんじや。

火力発電と原子力発電の違い



だからといって、火力発電のように、火を使ってウランを燃やして水を沸かしているのではないぞ。原子力発電は、ウラン原子が核分裂(かくぶんれつ)するときに出す熱エネルギーを利用して蒸気をつくっているんじや。

原子力発電の良いところは、少ない燃料でたくさんの電気をつくるができること、さらに燃料のウランはリサイクルできる点じゃ。特に、石油や天然ガスといった資源の乏しい日本では、日本全体の発電量の約1/3を原子力でまかなっておるんじや。また、発電のときに地球温暖化に影響する二酸化炭素を出さない長所もあるんじや。

これまで、水力発電、火力発電、原子力発電とお話してきたんじやが、それぞれ長所と短所があり、その中で日本では、燃料確保の安定性、経済性、環境への適合性などを考え、バランスよく電気をつくることを考えているんじやな。

君たち、テレビや電気をつけたまま寝てしまったようなことはないかな。電気は簡単に使えるからといってムダに使ってはいかんぞ。

それではまた次回のコラムでお会いしよう。

○入館無料 ○開館時間 10:00 ~ 16:30

○毎週月曜休館(月曜日が祝日の場合はその翌日)

大洗町港中央12番地 ☎267-8989

URL <http://www.jnc.go.jp/xwakuwaku/>

大洗わくわく科学館

月影を写す田水でありにけり

新町 岸和田和子

(評) 田を鋤き起して水を張り、更に土塊を掻き馴して苗を植えるばかりになった代田。その田面に折からの夏の月が美しい姿を写している。静かだ。満々と湛えられた水面は水皺も見えず、唯一月影があるばかりなのである。

この木からこの枝からの花吹雪

東光台 大川 たか

(評) 花吹雪が虚空に舞い、地を払って吹かれてゆく。それはこの桜老樹から、この大枝から、風の意のままに散り吹雪いてくるのだ。

藤揺れて忙しき蜂でありにけり

髭釜 岸根世司子

(評) 藤棚の日蔭に、風に揺れ動く花房を眺めている。その美しい藤浪の中に、蜜を求めて花房にまつはる蜂が、風のまにまに忙しく右往左往しているのだ。

どの枝も風遊ばせて若楓

角一 鈴木 さた

(評) 木の老若に拘わらず、今春出たての新葉を繁らせるので若楓と言う。この大楓、すべての枝に風を招んで、涼し気な葉音を奏でている。風遊ばせてがうまい。

階の一段毎の落花かな

夏海 杉山いわを

(評) 花の山の石段を一段一段上ってゆく。桜はすでに盛りを過ぎたようで、時折の山風に花吹雪となつて、すっかり花のきざはしとなつてい。歩一步落花を踏んで昇る。

目覚ましの鳴った気もする朝寝かな

明神町 小松崎美代

(評) 霜柱の立つ冬と違い、春曉の寝床は誠に心地よいのだ。夢幻のうちに枕辺の目覚ましが鳴っているのを、聞いたような聞かないようなと、ついつつと朝寝を貪ってしまうのだ。似た詞に「春眠」がある。古来「春眠曉う覚えず」と言う。

上を見て廻りを見ての花筵

永町 鈴木 芳子

春雷の二つで終る海の町

新町 加藤 宗一

田植機の逆さ筑波を崩しけり

永町 浅見三千子

雪洞をよぎる落花の影らしき

桜道 真田 静子

糠添へて大筍を持ち呉れし

夏海 大貫千代子

さざ波の寄せてくる渚風光る

新町 酒井 省三

こでまりの白の明るき厨前

東光台 田中 勝枝

花冷やコーヒー熱く濃くいれて

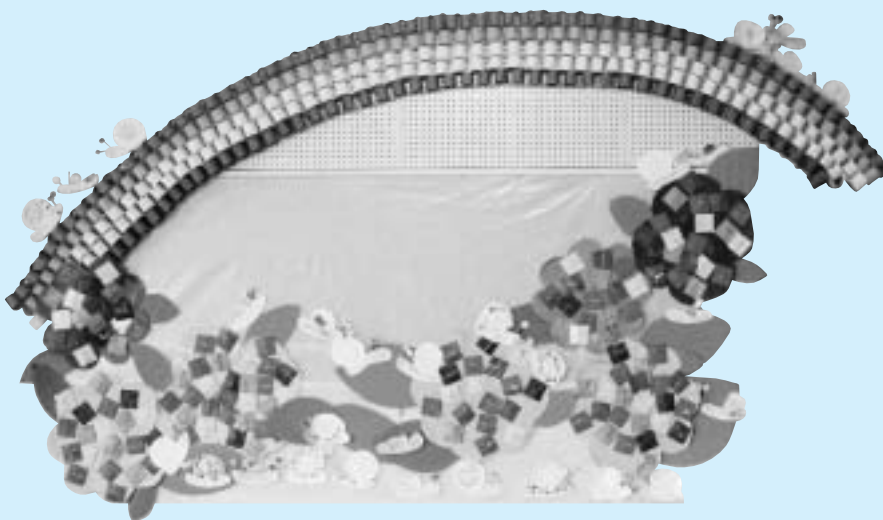
桜道 上野 君枝

磯浪の屏風返しや風五月

選者吟

第二保育所
年長きりん組共同制作

「あじさいまつり」



ぼくとわたしのちびっこギャラリー



6月のイベント案内「妖怪ラリー」

館内にある7箇所のポイントをまわり、キーワードを探せ!

開催期間:6月1日(火)~6月30日(水)

参加資格:中学生以下のお子様

7月17日より8月31日まで、第7回企画展「水辺の妖怪」が開催されます。そのプレ・イベントとして6月1日より1ヶ月間「妖怪ラリー」を開催いたします。

ポイントとなる7つの場所には河童が登場。

河童が手に持っているモノは何かな? 一つひとつ解答していくとある答えが導きされるようになっています。正解者の中から抽選で素敵な賞品が当たりますので、どんどんご応募下さい。



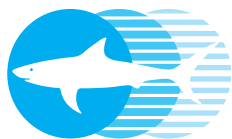
〔入館料〕

種 別	個 人	団 体	学校特割
大 人	1,800円	1,400円	
小中学生	900円	700円	600円
幼 児	300円	250円	200円

- ・料金は消費税が含まれています。
- ・団体は20人以上です。
- ・幼児は3歳以上です。
- ・学校特割とは、保育所、幼稚園、小・中学校の学校行事として利用する場合です。

〔営業時間〕9:00~17:00

夏期営業時間(7/17~8/22)9:00~19:00



アクアワールド
茨城県大洗水族館

<http://www.aquaworld-oarai.com>

